

伊賀市の小中学校の適正規模を考えるアンケート調査結果（概要版）

【調査概要】

1. 調査目的

伊賀市内の小中学校に通学する児童・生徒数は、令和14年度までの推計で1,000人以上減少していることから、将来を担う子どもたちに、よりよい教育環境を確保し、児童生徒の教育環境の維持向上を図ることを目的として小中学校の適正規模について検討を進めているところです。

このアンケート調査は、小中学校の適正規模・適正配置のための校区再編について、1クラスの人数や1学年のクラス数をより良いものとするために、どの地区がどの学校に通学するか、また学校を統合するか等を見直すための基礎資料とするものです。

2. 調査内容

- ①通学の方法についての質問
- ②望ましい学級人数や学校規模についての質問
- ③小規模校の増加についての質問
- ④校区のあり方についての質問
- ⑤学校生活についての自由意見や統合や校区の再編についての自由意見

3. 調査仕様

- ①調査地域 伊賀市全域
- ②調査対象 市立小中学校に通学する小学校5・6年生とその保護者、中学生とその保護者、小中学校の常勤教員

小学校5・6年生	1,387人
小学生保護者	3,939人
小学校教職員	350人
中学生	2,113人
中学生保護者	2,113人
中学校教職員	230人
合 計	10,132人

- ③周知方法 対象児童・生徒及びその保護者に各小中学校を通じて協力依頼。

（保護者へは案内文書を配布）

- ④調査方法 GIGA端末またはスマートフォンによるWeb方式（翻訳版を含む）

4. 調査期間

2023（令和5）年2月15日～2023（令和5）年3月31日

5. 回収数

	件 数	回収率
小学校5・6年生	1,230件	88.70%
小学生保護者	1,753件	44.50%
小学校教職員	271件	77.40%
中学生	1,717件	81.30%
中学生保護者	872件	41.30%
中学校教職員	177件	77.00%
合 計	6,020件	59.40%

伊賀市の小中学校の適正規模を考えるアンケート調査結果（概要版）

【小学校】

◎回答者の属性

学年・年代	小学生 (%)		保護者 (%)		教職員 (%)	
① 5 年生	637	51.8				
② 6 年生	593	48.2				
③ 2 0 代			28	1.6	57	21.0
④ 3 0 代			637	36.3	61	22.5
⑤ 4 0 代			980	55.9	40	14.8
⑥ 5 0 代			103	5.9	80	29.5
⑦ 6 0 代以上			5	0.3	33	12.2
合計	1, 230	100	1, 753	100	271	100

学校名	小学生 (%)		保護者 (%)		教職員 (%)	
①上野東小	161	13.1	220	12.5	32	11.8
②上野西小	185	15.0	297	16.9	30	11.1
③久米小	52	4.2	75	4.3	15	5.5
④上野北小	75	6.1	55	3.1	4	1.5
⑤府中小	60	4.9	66	3.8	17	6.3
⑥中瀬小	35	2.8	32	1.8	2	0.7
⑦友生小	99	8.0	202	11.5	23	8.5
⑧依那古小	31	2.5	35	2.0	8	3.0
⑨神戸小	18	1.5	17	1.0	7	2.6
⑩成和東小	31	2.5	43	2.5	10	3.7
⑪成和西小	35	2.8	24	1.4	9	3.3
⑫三訪小	24	2.0	31	1.8	13	4.8
⑬柘植小	36	2.9	51	2.9	13	4.8
⑭西柘植小	28	2.3	58	3.3	7	2.6
⑮壬生野小	60	4.9	89	5.1	12	4.4
⑯島ヶ原小	25	2.0	39	2.2	11	4.1
⑰阿山小	99	8.0	141	8.0	16	5.9
⑱大山田小	66	5.4	114	6.5	20	7.4
⑲青山小	110	8.9	164	9.4	22	8.1
合計	1, 230	100	1, 753	100	271	100

◎通学について

問①：小学校への通学方法や通学距離についてどのように思いますか。

項目	小学生 (%)		保護者 (%)		教職員 (%)	
①徒歩通学は30分以内、それ以上はスクールバス	686	55.8	1, 112	63.4	206	76.0
②徒歩通学は45分以内、それ以上はスクールバス	218	17.7	265	15.1	47	17.3
③徒歩通学は60分以内、それ以上はスクールバス	103	8.4	38	2.2	2	0.7
④公的交通機関やスクールバスなど通学手段がしっかりしていれば、通学時間や通学距離はこだわらない	223	18.1	338	19.3	16	5.9
合計	1, 230	100	1, 753	100	271	100

問②：通学に関する保護者負担について、どのようにお考えですか。

項目	小学生 (%)	保護者 (%)	教職員 (%)
①保護者負担はやむを得ないが、徒歩や自転車で通学できない遠距離通学については、スクールバス等の交通費は無料にすべき		1,004 57.3	173 63.8
②スクールバス、公共交通機関に関わらず、自宅から学校までの距離に応じ保護者が負担すべき		35 2.0	9 3.3
③交通事情や道路整備の状況等により、地域によって環境が異なるため、各学校ごとに保護者負担のルールを決めればよい		263 15.0	25 9.2
④学校までの距離は近くても、料金を支払えばスクールバスや公共交通で通学できるようにすればよい		108 6.2	7 2.6
⑤どのような場合でも、通学に必要な交通費を保護者が負担すべきでない		343 19.6	57 21.0
合計		1,753 100	271 100

問③：学校へはどのように通学したいですか。

項目	小学生 (%)	保護者 (%)	教職員 (%)
①徒歩	378 30.7		
②自転車	436 35.4		
③バス	235 19.1		
④電車	32 2.6		
⑤家族に送ってもらう	149 12.1		
合計	1,230 100		

◎望ましい学級人数や学校規模について

問④：クラスの人数は何人ぐらいが良いですか。

項目	小学生 (%)	保護者 (%)	教職員 (%)
①15人未満	116 9.4	77 4.4	7 2.6
②16～20人	194 15.8	409 23.3	80 29.5
③21～25人	218 17.7	686 39.1	148 54.6
④26～30人	418 34.0	503 28.7	36 13.3
⑤31～35人	284 23.1	78 4.4	0 0.0
合計	1,230 100	1,753 100	271 100

問⑤：1つの学年のクラス数は、どれくらいが良いですか。

項目	小学生 (%)	保護者 (%)	教職員 (%)
①1クラス	322 26.2	165 9.4	8 3.0
②2～3クラス	710 57.7	1,323 75.5	247 91.1
③4～5クラス	178 14.5	256 14.6	16 5.9
④6クラス以上	20 1.6	9 0.5	0 0.0
合計	1,230 100	1,753 100	271 100

問⑥：クラス替えについてどう思いますか。

項目	小学生 (%)	保護者 (%)	教職員 (%)
①ある方がよい	892 72.5		
②ない方がよい	338 27.5		
合計	1,230 100		

◎小規模校の増加について

問⑦：あなたの（お子さんの通学する・あなたが勤務する）学校全体の児童数について、どのように感じますか

項目	小学生 (%)		保護者 (%)		教職員 (%)	
①多すぎる	48	3.9	54	3.1	17	6.3
②少し多い	164	13.3	224	12.8	61	22.5
③ちょうど良い	749	60.9	913	52.1	112	41.3
④少し少ない	206	16.7	398	22.7	62	22.9
⑤少なすぎる	63	5.1	164	9.4	19	7.0
合計	1,230	100	1,753	100	271	100

問⑧：小規模校のメリットについて、最も当てはまるものをお選びください。
（3つ以内で選択してください）

項目	小学生 (%)		保護者 (%)		教職員 (%)	
①切磋琢磨しながら力を伸ばしやすい環境である					8	1.1
②競争意識が生まれやすい環境である					2	0.3
③多様な学習形態で授業を展開できる					16	2.3
④多くの行事により、子どもを育てることができる					29	4.1
⑤先生が目が届きやすく、きめ細やかな指導がしやすい					216	30.6
⑥全員で団結や協力がしやすい					56	7.9
⑦個々の活動の場が増え、責任感が育つ					112	15.9
⑧ゆとりや安心感など、家庭的な雰囲気の中で勉強ができる					52	7.4
⑨子どもたちの人間関係が深まりやすい					30	4.2
⑩学校行事等で子どもたちに個別の活動機会を設けやすい					45	6.4
⑪異学年間の教育・交流活動を設けやすい					73	10.3
⑫ICT 機器などの授業で使用する教具を一人一人に行き渡らせやすい					32	4.5
⑬学校と保護者・地域社会が連携した教育活動を展開しやすい					35	5.0
⑭その他					0	0.0
合計					706	100

問⑨：小規模校のデメリットについて、最も当てはまるものをお選びください。
（3つ以内で選択してください）

項目	小学生 (%)		保護者 (%)		教職員 (%)	
①競争意識が薄くなりやすい					32	4.8
②集団活動・行事に支障がある					32	4.8
③コミュニケーション能力が育ちにくい					35	5.2
④PTA活動等において、保護者への負担が多い					53	7.9
⑤子どもたちの人間関係や相互の評価などが固定化しやすい					176	26.4
⑥多様な考え方に触れる機会、学びあいの機会、切磋琢磨の機会が少なくなりやすい					91	13.6
⑦習熟度別学習やグループ学習など多様な学習形態がとりにくい					40	6.0
⑧部活動等の設置が限定され、選択の幅が狭まりやすい					38	5.7
⑨子どもたちの良さが複数の教員から多面的に評価されにくい					10	1.5
⑩教員同士が切磋琢磨する環境を作りにくく、指導技術の相互伝達（人材育成）がなされにくい（学年会や教科会等が成立しない）					17	2.5
⑪教員一人あたりの校務負担や学校行事に関する負担が重く、課題が生じやすい					142	21.3
⑫その他					1	0.1
合計					667	100

◎校区のあり方について

問⑩：自分の学校が、他の学校と一緒にすることや、自分が他の学校に通学することについて、どう思いますか。

項目	小学生 (%)	保護者 (%)	教職員 (%)
①賛成	282 22.9		
②どちらかといえば賛成	415 33.7		
③どちらかといえば反対	282 22.9		
④反対	251 20.4		
合計	1,230 100		

問⑪：お子さんの通学（あなたの勤務）する小学校は、今後、学校の適正配置（校区の見直しや統廃合）について検討が必要だと思いますか。

項目	小学生 (%)	保護者 (%)	教職員 (%)
①はい		229 13.1	50 18.5
②いいえ		965 55.0	136 50.2
③どちらとも言えない		559 31.9	85 31.4
合計		1,753 100	271 100

問⑫：学校の適正配置（校区の見直しや統廃合）を行う場合、期待することは何ですか。（3つ以内で選択してください）

項目	小学生 (%)	保護者 (%)	教職員 (%)
①新築の学校になる		304 9.3	101 19.3
②既存の学校でも改修等で新しくなる		811 24.7	158 30.3
③学級数や友達が増える		984 30.0	136 26.1
④部活動が活発になる		494 15.0	55 10.5
⑤PTA行事や学校行事に期待がもてる		110 3.3	13 2.5
⑥市の財政に余裕が生まれ、他のサービスが充実する		517 15.7	55 10.5
⑦その他		65 2.0	4 0.8
合計		3,285 100	522 100

問⑬：学校の適正配置（校区の見直しや統廃合）を行う場合、不安なことは何ですか。（3つ以内で選択してください）

項目	小学生 (%)	保護者 (%)	教職員 (%)
①学級数が増え子どもに目が届かなくなる		880 26.5	85 14.9
②学級数が増えることで人間関係に不安を感じる		676 20.3	78 13.7
③地域に学校がなくなる		276 8.3	137 24.1
④PTA行事や学校行事に期待がもてなくなる		34 1.0	4 0.7
⑤学校までが遠くなることから、登下校時の安全性が心配		1,018 30.6	151 26.5
⑥保護者や地域社会との連携が難しくなりやすい		411 12.4	112 19.7
⑦その他		30 0.9	2 0.4
合計		3,325 100	569 100

問⑭：小中学校の通学区域を変更する場合に、どのようなことに配慮すべきだと思いますか。
(3つ以内で選択してください)

項目	小学生 (%)	保護者 (%)	教職員 (%)
①適正な児童・生徒数、学級数を確保する		824 18.1	185 26.6
②通学路は交通量の多い道路や川など危険な場所がないように配慮する		831 18.2	65 9.4
③遠距離通学にならないように配慮する		644 14.1	76 10.9
④同じ地区の区域で、通学区域が分かれなように配慮する		494 10.8	66 9.5
⑤遠距離通学者については、スクールバス等の通学方法に配慮する		743 16.3	89 12.8
⑥児童・生徒同士の事前交流授業や学校行事の共同開催などの教育活動を実施する		104 2.3	19 2.7
⑦保護者、地域住民、地域団体と十分に協議する		281 6.2	102 14.7
⑧統合校となる校舎の施設を整備する		144 3.2	46 6.6
⑨校区再編で廃校となる場合の有効活用を推進する		131 2.9	17 2.4
⑩放課後子ども教室・学童保育クラブを整備する		345 7.6	28 4.0
⑪その他		17 0.4	2 0.3
合計		4,558 100	695 100

問⑮：旧市町村の区域を超える、あるいは既存の校区を分ける学校統合や校区再編はどのように思いますか。最も考えに近いものを1つ選択してください。

※旧市町村の区域を超える学校統合や校区再編・・・(Ⅰ)の方法

※既存の校区を分ける学校統合や校区再編・・・(Ⅱ)の方法

項目	小学生 (%)	保護者 (%)	教職員 (%)
①既存の校区に関係なく、学校統合や校区再編を進めるべきである		533 30.4	71 26.2
②(Ⅰ)の方法はやむを得ないが、(Ⅱ)の方法はするべきではない。		441 25.2	72 26.6
③(Ⅰ)の方法はするべきではないが、(Ⅱ)の方法はやむを得ない。		272 15.5	48 17.7
④学校統合や校区再編はやむを得ないが、(Ⅰ)の方法、あるいは(Ⅱ)の方法いずれも反対である。		226 12.9	48 17.7
⑤どのような理由であっても、今以上の学校統合や校区再編には反対である。		281 16.0	32 12
合計		1,753 100	271 100

伊賀市の小中学校の適正規模を考えるアンケート調査結果（概要版）

【中学校】

◎回答者の属性

学年・年代	中学生 (%)		保護者 (%)		教職員 (%)	
① 1 年生	613	35.7				
② 2 年生	604	35.2				
③ 3 年生	500	29.1				
④ 2 0 代			4	0.5	46	26.0
⑤ 3 0 代			110	12.6	36	20.3
⑥ 4 0 代			611	70.1	35	19.8
⑦ 5 0 代			141	16.2	49	27.7
⑧ 6 0 代以上			6	0.7	11	6.2
合計	1,717	100	872	100	177	100

学校名	中学生 (%)		保護者 (%)		教職員 (%)	
①崇広中	223	13.0	185	21.2	29	16.4
②緑ヶ丘中	437	25.5	158	18.1	31	17.5
③城東中	278	16.2	152	17.4	25	14.1
④上野南中	155	9.0	74	8.5	20	11.3
⑤柘植中	62	3.6	19	2.2	8	4.5
⑥霊峰中	140	8.2	92	10.6	12	6.8
⑦島ヶ原中	28	1.6	14	1.6	7	4.0
⑧阿山中	133	7.7	71	8.1	18	10.2
⑨大山田中	99	5.8	25	2.9	8	4.5
⑩青山中	162	9.4	82	9.4	19	10.7
合計	1,717	100	872	100	177	100

◎通学について

問①：中学校への通学時間や通学方法はどのように望めますか。（1つ選択してください）

項目	中学生 (%)		保護者 (%)		教職員 (%)	
①徒歩・自転車での通学は30分以内、それ以上はスクールバス	988	57.5	611	70.1	133	75.1
②徒歩・自転車での通学は45分以内、それ以上はスクールバス	228	13.3	83	9.5	30	16.9
③徒歩・自転車での通学は60分以内、それ以上はスクールバス	78	4.5	15	1.7	6	3.4
④公的交通機関やスクールバスなど通学手段がしっかりしていれば、通学時間や通学距離はこだわらない	423	24.6	163	18.7	8	4.5
合計	1,717	100	872	100	177	100

問②：通学に関する保護者負担について、どのようにお考えですか。

項目	中学生 (%)	保護者 (%)	教職員 (%)
①保護者負担はやむを得ないが、徒歩や自転車で通学できない遠距離通学については、スクールバス等の交通費は無料にすべき		512 58.7	115 65.0
②スクールバス、公共交通機関に関わらず、自宅から学校までの距離に応じ保護者が負担すべき		25 2.9	4 2.3
③交通事情や道路整備の状況等により、地域によって環境が異なるため、各学校ごとに保護者負担のルールを決めればよい		122 14.0	11 6.2
④学校までの距離は近くても、料金を支払えばスクールバスや公共交通で通学できるようにすれば良い		74 8.5	7 4.0
⑤どのような場合でも、通学に必要な交通費を保護者が負担すべきでない		139 15.9	40 22.6
合計		872 100	177 100

◎望ましい学級人数や学校規模について

問③：中学校1学級あたりの生徒数は、何人くらいが良いと思いますか。

項目	中学生 (%)	保護者 (%)	教職員 (%)
①15人未満	39 2.3	14 1.6	3 1.7
②16～20人	96 5.6	83 9.5	8 4.5
③21～25人	317 18.5	311 35.7	63 35.6
④26～30人	782 45.5	380 43.6	88 49.7
⑤31～35人	483 28.1	84 9.6	15 8.5
合計	1,717 100	872 100	177 100

問④：中学校の1学年のクラス数は何クラスくらいが良いと思いますか。

項目	中学生 (%)	保護者 (%)	教職員 (%)
①1クラス	103 6.0	15 1.7	2 1.1
②2～3クラス	892 52.0	488 56.0	103 58.2
③4～5クラス	616 35.9	350 40.1	70 39.5
④6クラス以上	106 6.2	19 2.2	2 1.1
合計	1,717 100	872 100	177 100

◎小規模校の増加について

問⑤：あなたの（お子さんの通学する・あなたが勤務する）学校全体の児童数について、どのように感じますか

項目	中学生 (%)	保護者 (%)	教職員 (%)
①多すぎる	45 2.6	11 1.3	8 4.5
②少し多い	201 11.7	99 11.4	32 18.1
③ちょうど良い	1,126 65.6	541 62.0	88 49.7
④少し少ない	254 14.8	183 21.0	38 21.5
⑤少なすぎる	91 5.3	38 4.4	11 6.2
合計	1,717 100	872 100	177 100

問⑥：生徒の人数が多い学校の「いいな」と感じる点はありますか。（3つ以内で選択してください。）

項目	中学生 (%)	保護者 (%)	教職員 (%)
①周りの子と力を合わせて勉強や運動がしやすい	563 14.7		
②クラス替えがあり、友達がたくさんできる	909 23.7		
③いろんな先生と接することが出来る	239 6.2		
④さまざまな個性を持つ友達と触れ合い、互いに切磋琢磨できる	620 16.2		
⑤学校全体に活気があり、学校行事が盛り上がる	813 21.2		
⑥部活動について、競技や活動の種類が多く、選択できる	678 17.7		
⑦その他	14 0.4		
合計	3,836 100		

問⑦：生徒の人数が少ない学校の「いいな」と感じる点はありますか。（3つ以内で選択してください。）

項目	中学生 (%)	保護者 (%)	教職員 (%)
①先生が勉強や部活を細かく指導してくれる	779 19.9		
②同じ生徒とずっと同じクラスで過ごせ、互いに親密になれる	871 22.3		
③クラスや学年全員で協力しやすい	629 16.1		
④学年を越えた友達ができやすい	464 11.9		
⑤一人ひとりの活動の場が増える	337 8.6		
⑥ゆとりや安心感など、家庭的な雰囲気の中で勉強ができる	420 10.7		
⑦運動場や体育館、特別教室などが余裕を持って使える。	407 10.4		
⑧その他	6 0.2		
合計	3,913 100		

問⑧：小規模校のメリットについて、最も当てはまるものをお選びください。
（3つ以内で選択してください）

項目	中学生 (%)	保護者 (%)	教職員 (%)
①切磋琢磨しながら力を伸ばしやすい環境である			11 2.3
②競争意識が生まれやすい環境である			1 0.2
③多様な学習形態で授業を展開できる			29 6.2
④多くの行事により、子どもを育てることができる			9 1.9
⑤先生の目が届きやすく、きめ細やかな指導がしやすい			139 29.5
⑥全員で団結や協力がしやすい			34 7.2
⑦個々の活動の場が増え、責任感が育つ			58 12.3
⑧ゆとりや安心感など、家庭的な雰囲気の中で勉強ができる			42 8.9
⑨子どもたちの人間関係が深まりやすい			37 7.9
⑩学校行事等で子どもたちに個別の活動機会を設けやすい			24 5.1
⑪異学年間の教育・交流活動を設けやすい			38 8.1
⑫ICT 機器などの授業で使用する教具を一人一人に			29 6.2
⑬学校と保護者・地域社会が連携した教育活動を展開しやすい			20 4.2
⑭その他			0 0.0
合計			471 100

問⑨：小規模校のデメリットについて、最も当てはまるものをお選びください。
(3つ以内で選択してください)

項目	中学生 (%)	保護者 (%)	教職員 (%)
①競争意識が薄くなりやすい			41 8.9
②集団活動・行事に支障がある			13 2.8
③コミュニケーション能力が育ちにくい			30 6.5
④PTA活動等において、保護者への負担が多い			27 5.9
⑤子どもたちの人間関係や相互の評価などが固定化しやすい			97 21.0
⑥多様な考え方に触れる機会、学びあいの機会、切磋琢磨の機会が少なくなりやすい			32 6.9
⑦習熟度別学習やグループ学習など多様な学習形態がとりにくい			12 2.6
⑧部活動等の設置が限定され、選択の幅が狭まりやすい			82 17.8
⑨子どもたちの良さが複数の教員から多面的に評価されにくい			7 1.5
⑩教員同士が切磋琢磨する環境を作りにくく、指導技術の相互伝達(人材育成)がなされにくい(学年会や教科会等が成立しない)			20 4.3
⑪教員一人あたりの校務負担や学校行事に関する負担が重く、課題が生じやすい			98 21.3
⑫その他			2 0.4
合計			461 100

◎校区のあり方について

問⑩：あなたの通学する学校が、他の学校と統合したり、今と違う学校に通学することについて、どう思いますか。

項目	中学生 (%)	保護者 (%)	教職員 (%)
①賛成	358 20.9		
②どちらかといえば賛成	528 30.8		
③どちらかといえば反対	495 28.8		
④反対	336 19.6		
合計	1,717 100		

問⑪：お子さんの通学（あなたの勤務）する中学校は、今後、学校の適正配置（校区の見直しや統廃合）について検討が必要だと思いますか。

項目	中学生 (%)	保護者 (%)	教職員 (%)
①はい		86 9.9	46 26.0
②いいえ		484 55.5	68 38.4
③どちらとも言えない		302 34.6	63 35.6
合計		872 100	177 100

問⑫：学校の適正配置（校区の見直しや統廃合）を行う場合、期待することは何ですか。
(3つ以内で選択してください。)

項目	中学生 (%)	保護者 (%)	教職員 (%)
①新築の学校になる		147 8.2	59 16.8
②既存の学校でも改修等で新しくなる		426 23.8	97 27.6
③学級数が増える		451 25.2	90 25.6
④学校行事が活発になる		471 26.3	51 14.5
⑤PTA行事や学校行事に期待がもてる		54 3.0	8 2.3
⑥市の財政に余裕が生まれ、他のサービスが充実する		218 12.2	38 10.8
⑦その他		23 1.3	8 2.3
合計		1,790 100	351 100

問⑬：学校の適正配置（校区の見直しや統廃合）を行う場合、不安なことは何ですか。
（3つ以内で選択してください。）

項目	中学生 (%)	保護者 (%)	教職員 (%)
①学級数が増え子どもに目が届かなくなる		386 21.6	52 14.7
②学級数が増えることで人間関係に不安を感じる		369 20.7	53 15.0
③地域に学校がなくなる		258 14.5	82 23.2
④P T A行事や学校行事に期待がもてなくなる		25 1.4	5 1.4
⑤学校までが遠くなることから、登下校時の安全性が心配		526 29.5	106 29.9
⑥保護者や地域社会との連携が難しくなりやすい		209 11.7	55 15.5
⑦その他		12 0.7	1 0.3
合計		1,785 100	354 100

問⑭：小中学校の通学区域を変更する場合に、どのようなことに配慮すべきだと思いますか。
（3つ以内で選択してください）

項目	中学生 (%)	保護者 (%)	教職員 (%)
①適正な児童・生徒数、学級数を確保する		421 18.6	125 27.1
②通学路は交通量の多い道路や川など危険な場所がないように配慮する		358 15.8	29 6.3
③遠距離通学にならないように配慮する		351 15.5	73 15.8
④同じ地区の区域で、通学区域が分かれられないように配慮する		299 13.2	50 10.8
⑤遠距離通学者については、スクールバス等の通学方法に配慮する		393 17.3	69 15.0
⑥児童・生徒同士の事前交流授業や学校行事の共同開催などの教育活動を実施する		50 2.2	7 1.5
⑦保護者、地域住民、地域団体と十分に協議する		116 5.1	58 12.6
⑧統合校となる校舎の施設を整備する		82 3.6	32 6.9
⑨校区再編で廃校となる場合の有効活用を推進する		100 4.4	5 1.1
⑩放課後子ども教室・学童保育クラブを整備する		89 3.9	11 2.4
⑪その他		7 0.3	2 0.4
合計		2,266 100	461 100

問⑮：旧市町村の区域を超える、あるいは既存の校区を分ける学校統合や校区再編はどのように思いますか。
最も考えに近いものを1つ選択してください。

※旧市町村の区域を超える学校統合や校区再編・・・（Ⅰ）の方法

※既存の校区を分ける学校統合や校区再編・・・（Ⅱ）の方法

項目	中学生 (%)	保護者 (%)	教職員 (%)
①既存の校区に関係なく、学校統合や校区再編を進めるべきである		253 29.0	68 38.4
②（Ⅰ）の方法はやむを得ないが、（Ⅱ）の方法はするべきではない。		180 20.6	47 26.6
③（Ⅰ）の方法はするべきではないが、（Ⅱ）の方法はやむを得ない。		182 20.9	36 20.3
④学校統合や校区再編はやむを得ないが、（Ⅰ）の方法、あるいは（Ⅱ）の方法いずれも反対である。		117 13.4	16 9.0
⑤どのような理由であっても、今以上の学校統合や校区再編には反対である。		140 16.1	10 5.6
合計		872 100	177 100